

2 学年だより

夢の宅配便

2 年学年主任

水野 喜代治

「読み聞かせ」が再開されました。



3組で読み聞かせをする、小林さん

7月6日（水）、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止していた「朝の読み聞かせ」が久しぶりに再開されました。「朝の読み聞かせ」は図書ボランティアの活動です。城山中学校の図書室は非常に整った環境で運営されています。ほぼ毎日、昼休みや放課後に図書ボランティアさんと図書委員会の生徒と連携して図書館を開館しています。毎日、図書室を利用できるのは、城山中学校の特徴でもあります。また、授業の内容によって図書室に特設コーナーを設置してもらえるので、生徒は授業内容をさらに図書室で深めることができます。毎日、昼休みは20名ぐらいの利用者があり、生徒も積極的に本を借りています。

図書ボランティアさんのもう一つの活動に朝読書の時間の「読み聞かせ」があります。ボランティアさんが生徒の状況や季節に合わせて絵本を選んで読み聞かせをしてくれます。今回の読み聞かせの絵本は、1組が「あなたがおとなになったとき」・「汲む」、2組が「撃ちぬかれた本」・「焦げた橋」3組が「すきっていわなきゃだめ？」・「たなばたさま」でした。1組が山田さん、2組が本田さん、3組が、小林さんが、心を込めて読み聞かせをしてくださいました。戦争に関する絵本もありました。戦争（太平洋戦争）のことを聞く機会はほとんどなくなってしまいました。生徒も社会科の授業以外で太平洋戦争の悲惨な惨状を知る機会はないと思います。とても有意義な時間でした。

新型コロナウイルスの前までは、ボランティアさんに図書委員会の生徒が学んで1年生との教室に向いて読み聞かせをする活動をしていました。是非そちらの活動も再開して欲しいです。